

# ゲツセマネ

知っておきたいキリスト教のことば (67)

ゲツセマネはエルサレム市外の東側にあるオリーブ山の西斜面にある場所です。イエス様が逮捕される直前に、三人の弟子たちを連れて祈っていた場所として、聖書には出てきます。

イエス様は十字架の直前、この場所でうつ伏せになり、神さまにこのように祈りました。「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに」。

この祈りは「ゲツセマネの祈り」と呼ばれます。神さまのみ心に従うイエス様の姿が、ここに描かれています。



イエス様はこのときに、大きな苦しみを経験しました。彼が受ける十字架は全人類の罪を一身に背負うものであり、また十字架につけられるということは、彼一人が神さまの裁きを受けることを意味していたからです。

それでもイエス様はご自分の思いではなく、神さまのみ心を第一としました。わたしたちも、そのように祈ることができたらと思います。

ちなみに「ゲツセマネ」とは、ヘブライ語で「油しぼり（ガス・シェマーニー）」を意味します。オリーブ山ではその名のとおりに、オリーブを多く栽培していました。その一角にある自然の岩を用いてオリーブ油が搾られていたことから、この名前で呼ばれるようになったようです。

この場所には古くから教会が建てられてきましたが、二度破壊されました。現在では1924年に建てられたローマカトリックの「万国民の教会」と、ロシア正教会が建てた「マリヤ・マグダリナ教会」があります。またその場所には、樹齢千年を越す八本のオリーブの木が植えられているそうです。

次回は「顕現」です。お楽しみに。